

第36回 技術研究発表会

第31回 交流展示会

テーマ GXで実践する持続可能で魅力的なまちづくり

アーバンインフラ・テクノロジー推進会議（UIT）では、都市づくりに関するアーバンインフラストラクチャーとテクノロジーについて、学術と知識の交流を目的に、36年にわたって技術研究発表会と交流展示会を実施してまいりました。

2024年は「GXで実践する持続可能で魅力的なまちづくり」をテーマに、論文発表およびプロジェクト・技術報告をハイブリッド形式にて開催いたします。

また、交流展示会では、地方公共団体や諸団体の都市基盤施設、都市インフラ技術、各種プロジェクトに関する情報を一堂に集めて公開いたします。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日時

2024年11月29日（金）開会式・発表・閉会式：10時30分～18時50分
意見交換会：閉会式後～20時00分

会場

ハイブリッド形式 オンライン：ウェビナー リアル会場：3×3Lab Future（東京都千代田区大手町1-1-2）

CPD単位

土木学会、日本都市計画学会（申請中）

参加費

無料

申込み

事前登録制 ※Web サイトもしくはQRコードからお申し込みください

◆技術研究発表会

10:30-15:55

<論文：15演題>

<報告：1演題>

A 技術・環境・エネルギー D プロジェクト・技術報告

B 情報・交通

C 都市の再興・まちづくり

16:05-18:10

<論文：4演題>

<報告：2演題>

E 共通セッション

国土交通省の取り組み

質疑・意見交換 等

◆交流展示会

都市基盤・インフラ技術 まちづくり

プロジェクト 他

◆参加登録 ＊詳細はこちら

www.uit.gr.jp/tech_research2024/

*状況に応じて詳細は変更になる場合がございます

主催 アーバンインフラ・テクノロジー推進会議 東京都文京区関口1-23-6 Tel 03-5261-5625 Mail uit@uit.gr.jp

協賛 三菱地所株式会社

後援 国土交通省 東京都 独立行政法人都市再生機構 公益財団法人都市活力研究所 一般財団法人都市みらい推進機構（予定）



第 36 回技術研究発表会 テーマ

◇ 2024年テーマ 「GXで実践する持続可能で魅力的なまちづくり」

気候変動に伴う自然災害の激甚化・頻発化など、気候危機とも言える状況に鑑み、地球温暖化対策は一国にとどまらない世界レベルでの待ったなしの課題であり、我が国でも 2050 年カーボンニュートラルの実現、気候危機への対応など、グリーン社会の実現は重要な政策課題となっています。特に、国土・都市・地域空間とそこで展開される様々な社会経済活動を支えるインフラや、住宅・建築物、自動車・公共交通等の輸送機関等の膨大なストックは、カーボンニュートラルの実現や気候危機に対応する持続可能で強靱なグリーン社会の基盤となるものであり、長期的な視点を持って、環境・社会・経済の統合的な向上を図る戦略的なマネジメントの構築の観点から社会システムのイノベーションを図っていく必要があります。

このため、国土交通省では 2010 年 7 月に「国土交通省グリーン社会実現推進本部」を設置し、「国土交通グリーンチャレンジ」として、2050 年の長期を見据えつつ、2030 年度までの 10 年間に重点的に取り組む分野横断・官民連携のプロジェクト、政策パッケージをとりまとめられ、各種施策が推進されています。

また、気候変動対策に加え、生物多様性の確保、Well-being の向上等の社会的要請に対応するため、都市緑地の多様な機能の発揮及び都市におけるエネルギーの面的利用を推進するまちづくり GX を推進することとしており、2024 年の通常国会において「都市緑地法等の一部を改正する法律」が成立し、11 月 8 日に施行されました。

このような中で、様々な活動の舞台である都市においては、都市のコンパクト化や公共交通の利便性向上、都市緑化の推進、省エネ・再エネ導入の推進等に新たな技術の活用等も含めてより積極的に取り組んでいく必要があります。

また、この取組では、多様な地域・主体との連携が必要不可欠であり、環境関連分野のデジタル化により効率的、効果的に進めることも重要ですそのため、DX の推進や分野横断的なデータ連携、オープンなデータプラットフォームの構築とあわせて取り組む必要があります。

以上の観点から、第 36 回技術研究発表会は『GX で実現する持続可能で魅力的なまちづくり』をテーマとして開催いたします。

◇ 共通セッションテーマ 「まちづくり GX の実践 ～多様な技術の導入と展開～」

都市と地方都市の双方を対象とし、まちづくり GX の取組みを紹介頂くことで、まちづくり GX に有効な技術とその期待効果、さらに持続可能な都市実装に向けた関係者の役割分担や合意形成手法、及び事業化手法について議論します。

第 36 回技術研究発表会 プログラム

■ 開会式

10:30-10:40 挨拶 U I T 会長 高橋 洋二 (東京海洋大学名誉教授)
来賓 国土交通省 都市局 街路交通施設課長 青柳 太 氏

■ 発表内容

10:45-12:00 発表 I 論文 (A.技術・環境・エネルギー)
12:00-13:00 昼休憩
13:00-15:55 発表 I 論文 (B.情報・交通 C.都市の再興・まちづくり)
II 報告 (D.プロジェクト・技術報告)
16:05-16:10 共通セッション 趣旨説明 技術研究発表委員 安藤 章 (日建設計総合研究所 主席研究員)
16:10-17:10 発表 I 論文 (C.都市の再興・まちづくり)、II 報告 (D.プロジェクト・技術報告)
17:10-17:25 国土交通省の取組み
タイトル:「未 定」
国土交通省 都市局都市計画課 都市計画調査室長 田中 成興 氏
17:25-18:10 共通セッション 質疑・意見交換等

■ 閉会式

18:30-18:50 講評 論文審査委員長 中村 英夫 (日本大学教授/UIT 副会長)
表彰 U I T 会長 高橋 洋二 (東京海洋大学名誉教授)

■ 意見交換会

18:50-20:00 来賓 国土交通省 大臣官房技術審議官 服部 卓也 氏
受賞者挨拶

- ・開会式から閉会式までのプログラムはオンライン (ウェビナー) または会場からご参加いただけます。
- ・アーカイブ配信は予定しておりません。
- ・プログラムの詳細は変更になる場合がございます。